



北区の花 菜の花

きた

2021

7

月号

今も残る 北区のむか〜し むかし

北区に残された伝承、伝説を「今も残る北区のむか〜しむかし」として紹介しています。興味をお持ちになったら、由来する場所を調べ、訪ねてみると新たな出会いがあるかもしれません。

雷様の貝殻伝説(南方神社)

大宮市役所発行「大宮市史 第5巻 民俗・文化財編」(昭和44年)
576ページ、「伝説と巷説」から引用

南方神社は吉野町二丁目、昔の吉野原字鈴木、中山道に沿った社である。むかしは諏訪神社であったが、後に雷電・八雲・稲荷社を合祀して南方神社としたのである。

この南方神社の宝物というのに「雷様の貝殻」というのがある。この貝殻は天保5年(1834)の夏、この近辺に大雷雨があり、神社の近くの大木に落雷したとき、天から降ってきたものであり、土地の人は雷様の貝殻であろうと噂し合ったという。形は痺碌(しゃこがい科最大の二枚貝)型で大へん重いという。



この貝殻は全長約40cm、重さ約4kgで、貝殻の外側には「天保5年7月11日雷神天下り」という文言と、発見者の名前が書かれています。南方神社の氏子総代のお話では、書付のその日、雷雨が去った後に中山道にこの貝殻が落ちているのを近くの人が発見したと伝えられているとのこと。その貝殻は、地域の皆さんにより、南方神社の宝物として今でも大切に受け継がれています。

問合せ 北区コミュニティ課 ☎669・6020 FAX669・6161

「市報さいたま」北区版7月号に掲載した事業については、新型コロナウイルスの影響により、中止や内容を変更する場合があります。詳しくは、市ホームページをご覧ください。各事業の問合せ先へお尋ねください。

北区役所 〒331-8586 北区宮原町1-852-1 ☎653・1111(代表) FAX669・6160 編集:北区コミュニティ課

※この電話は、さいたまコールセンターにつながります。

●人口/149,475人(男/74,369人 女/75,106人) ●世帯数/70,482世帯 ●面積/16.86km²(令和3年6月1日現在)